

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	太陽光発電利子補給事業	会計	一般会計	事業No.	361	施策順No.	57-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-5-17-1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	地球温暖化対策課		
施策	57省エネ・新エネ活用の推進			事業期間	開始	9	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市の世帯						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		全世帯		37512	37804	37886		
	意図	太陽光発電の設置をした住宅(世帯)が増える。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	住宅用太陽光発電システムの普及率(%)	2.25	2.3	2.7	3	3.7		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	太陽光発電の設置をした住宅での太陽エネルギー利用が進んでいる。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	太陽光発電利子補給事業 1 見直し後の21'いいだ環境プランでは、施策達成目標として、再生可能エネルギーを活用した世帯と全世帯のおよそ30%とすることを目指している。 2 平成9～15年度は、システム設置資金あっせん及び設置資金利子補給金交付制度という手法において普及に努め、632件の設置があった。制度利用者の利子補給を行う。 3 利子補給はシステム設置後から10年間続くので、債務負担行為(平成26年度まで)が併う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 太陽光発電利子補給事業(平成9～16年度までの制度に対する残分)	1 利子補給件数計	1 299件
23年度実施計画	おひさまのエネルギー利用推進事業を新設、統合		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源		2,337	2,288		
計(A)		2,337	2,288	0		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B		2,288			

4 事業に対する市民や議会の意見

議会からは、排出源及び吸収源の双方の対策から温室効果ガスの排出削減を推進するよう求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	環境に配慮しエネルギーを工夫して大切に使う	施策の成果指標又はムトス指標	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量(トン・21年度算出実績は19年度のもの)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	着実に利子補給を行い、市民の太陽光発電事業を推進してきた。		
	後期に向けた課題	今後も着実に利子補給を実施する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	債務負担行為の範囲内での利子補給を実施した。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	対象者は太陽光発電システムが高額な時代に、積極的に設置を行い、設置費用を負担している経過を踏まえると、利子補給による支援は適切である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	着実に利子補給を行い、市民の太陽光発電事業を推進してきた。		
	後期に向けた課題	利子補給の最終年度まで確実に実施する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------